

2026

2/19
開催

検討会

生成AI × 品質工学

(NotebookLM)

(技術者)

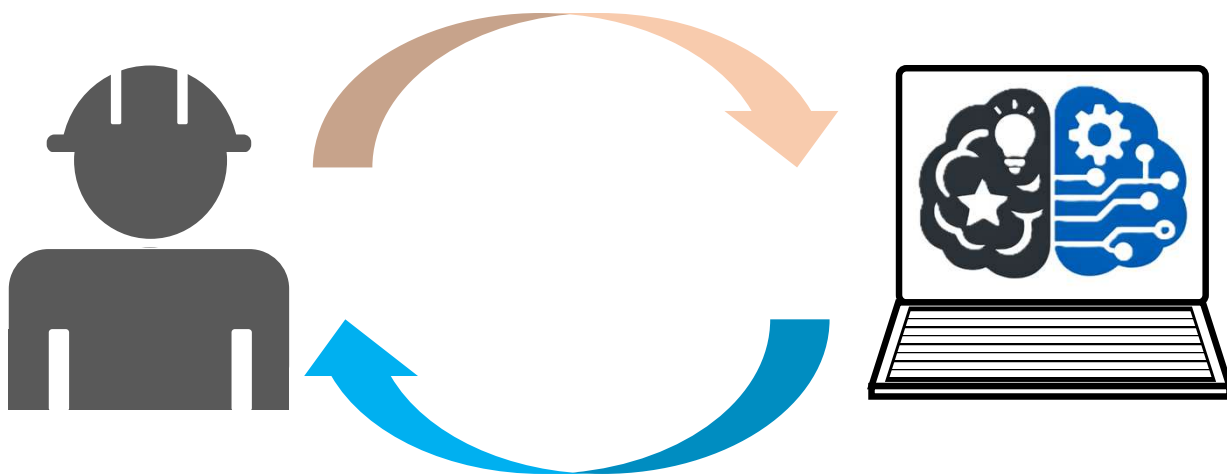
オン
ライン

ものづくり基盤技術研究会（品質工学分会）

技術者のみなさま

技術情報の整理・分析などに
生成AIを活用してみませんか

品質工学会のAIを活用した取り組みをご紹介します。
その利用方法は、各専門技術（品質工学以外）でも役立ちます。



参加費
無料



詳細は
次ページへ

ホームページをご覧ください
(申込フォーム有り)

検討会

生成AI × 品質工学
(NotebookLM) (技術者)

ものづくり基盤技術研究会では材料技術、分析評価技術、品質工学（管理技術）、溶接技術、射出成形技術などに関して、講習会、講演会、体験会などを開催し、ものづくり企業の技術支援を行っています。

最初に、品質工学会から、学会への要求を調査・整理した結果と、AI活用を含むサービス向上に向けた施策案をご共有いただき、参加者同士で意見交換を行います。

次に、品質工学会の会員から、生成AI（NotebookLM[※]）を活用し、品質工学における「機能・信号・誤差」の定義の仕方をご紹介します。併せて、品質工学会から学会員限定で提供されているソースデータの効果的な活用方法にも触れられます。

日本の製造業を支える品質工学会が描く今後の方向性や、技術者による生成AI活用の最新動向を把握できる貴重な機会です。ぜひご参加ください。

<補足> ※NotebookLMは、ユーザーが自ら登録した資料（ソース）を基に、情報の要約や整理、レポート作成を支援するGoogle提供のAIリサーチアシスタントです。一般的なAIチャットが学習済みの広範な知識やWeb検索から回答するのに対し、NotebookLMは提供されたソースの文脈のみに基づいて回答を生成するため、事実に基づかない「ハルシネーション」が起こりにくいという大きな違いがあります。技術者にとって活用しやすい生成AIと考えられます。

記

日時	令和8年（2026年）2月19日（木曜日） 13時15分～15時50分
開催方法	オンライン（Microsoft Teams）
内容	1. 品質工学会との意見交換会 13:15～14:45 品質工学会への要求の整理と会員を増やす処方箋の検討 一般社団法人品質工学会 教育普及委員会 細川哲夫氏 2. 生成AI（NotebookLM）を使った品質工学課題の抽出（仮） 14:55～15:45 ローム・アポロ株式会社 藤本武文氏
参加費	無料
対象者	・佐賀県内の企業、団体の技術者、監督職・管理職の方など ・品質工学会の会員
定員	50名程度
申し込み方法	チラシ表面のQRコード [®] などから工業技術センターのホームページにアクセスし、リンク先の「申込フォーム」に必要事項をご記入し、お申し込みください。 申込期限は 2月17日（火曜日） です。 (お申込みの方には2月18日頃に招待メールをお送りします)
問い合わせ先	材料環境部 平井 E-mail zairyo@saga-itc.jp（材料環境部専用） 電話 0952-30-8163（材料環境部直通）